

2024年11月11日

株式会社 第一興商  
2025年3月期第2四半期(中間期)  
決算説明資料

---

## 1. 2025年3月期中間期 決算概要 p.2-13

- ・決算サマリー
- ・損益状況
  - 業績対前期・対予想比較
  - 売上高・営業利益増減要因(前年同期比)
  - 売上高・営業利益増減要因(予想比)
  - 営業外損益/特別損益
- ・四半期ごと売上推移
- ・セグメント別業績
  - 業務用カラオケ、カラオケ・飲食店舗、音楽ソフト、その他
- ・財務状況(連結貸借対照表)
- ・連結経営指標
  - 収益性、健全性、キャッシュフロー

## 2. 2025年3月期の見通し p.14-19

- ・通期業績予想
- ・売上高・営業利益増減要因
- ・全社トピックス
- ・セグメントごとの取り組み
- ・株主還元(配当予想・自己株取得)

## 3. 参考資料 p.20-24

- ・グループ企業メッセージ(Singing)
- ・主要商品ラインアップ(業務用カラオケ)
- ・カラオケ・飲食店舗ブランド一覧
- ・パーキング事業
- ・音楽ソフト各社のアーティスト/その他事業

# 2025年3月期中間期 決算概要

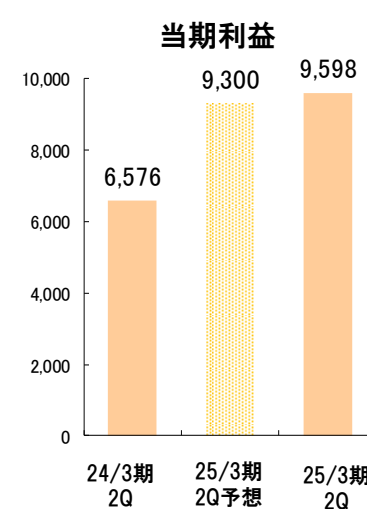
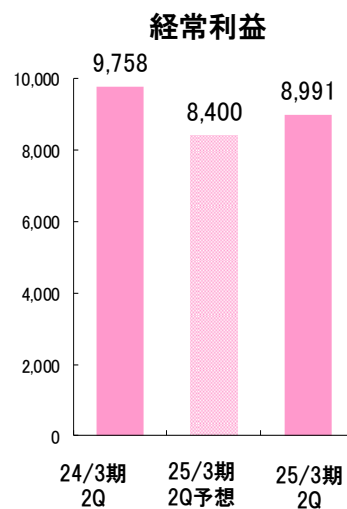
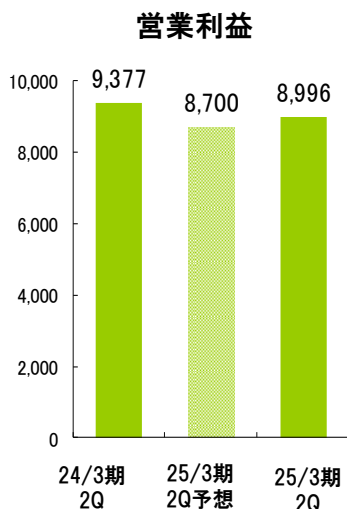
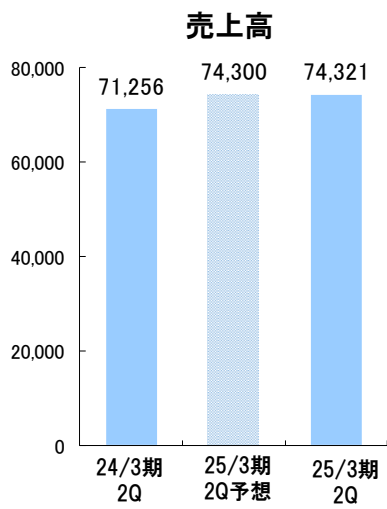
- 前期に引き続き、事業環境がゆるやかに改善しており、中間期の業績は概ね8月に修正した業績予想通りの進捗
- 売上高及び親会社株主に帰属する中間純利益は中間期として過去最高  
販管費の増加などの影響により、営業利益及び経常利益は前年同期比減益  
(前年同期比)営業利益△3億円、経常利益△7億円、当期純利益+30億円
- (業務用カラオケ)  
ナイト市場・エルダー市場を中心に、全体としてゆるやかに増加傾向  
新商品発売初年度だった前年同期と比べ商品販売が減少も、安定的収益基盤が堅調に拡大  
(カラオケ・飲食店舗)  
8月には台風10号が長期滞留した影響を受けるが、前期に引き続き集客は改善傾向  
既存店売上高はカラオケ・飲食とも前年同期比4%増
- 土地等の売却に伴い、2024年9月に固定資産売却益 44億円を計上
- 2024年5～10月に40億円の自己株取得を実施(9月末までに1,879千株、31億円取得済み)
- 通期業績予想については、2024年8月8日に修正した公表予想を据え置き。  
売上高1,527億円 営業利益188億円 経常利益189億円 当期純利益162億円

# 2025年3月期中間期決算概要 — 業績対前期／対予想比較 —

FY2024

(百万円)

	24/3期 2Q (売上比)	25/3期 2Q予想 (売上比)	25/3期 2Q (売上比)	対前期 増減	増減率	対予想 増減	増減率
売上高	71,256	74,300	74,321	+3,065	+4.3%	+21	+0.0%
営業利益	9,377 (13.2%)	8,700 (11.7%)	8,996 (12.1%)	△381	△4.1%	+296	+3.4%
経常利益	9,758 (13.7%)	8,400 (11.3%)	8,991 (12.1%)	△767	△7.9%	+591	+7.0%
当期利益	6,576 (9.2%)	9,300 (12.5%)	9,598 (12.9%)	+3,022	46.0%	+298	+3.2%



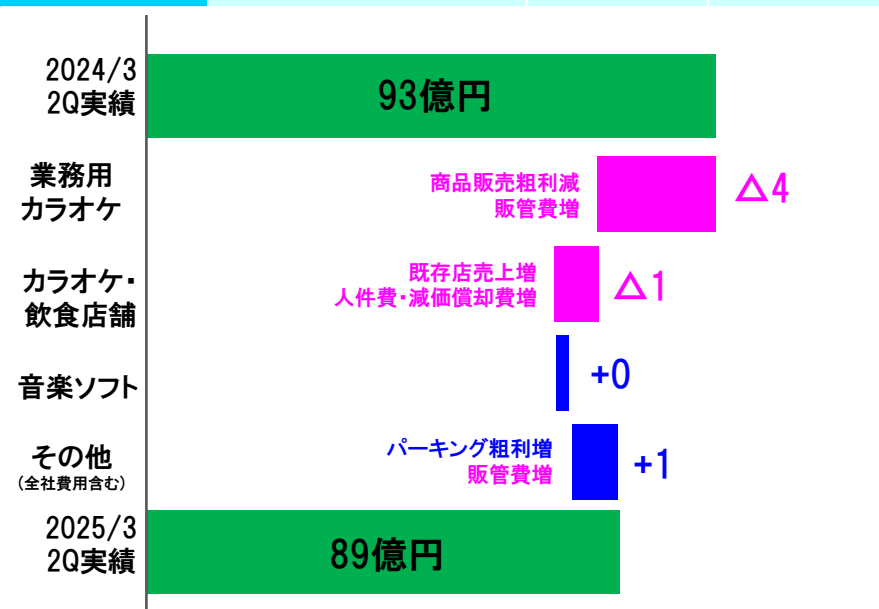
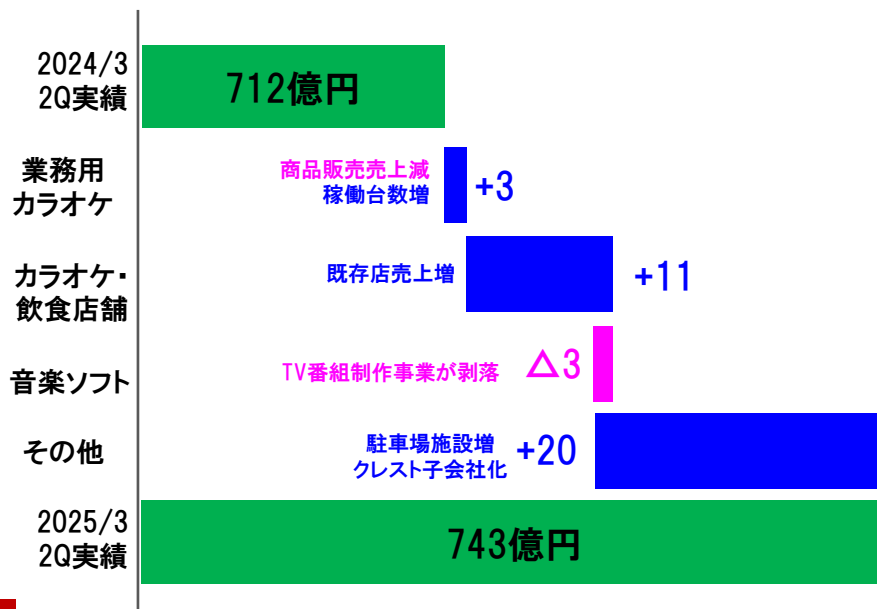
# 2025年3月期中間期 決算概要 - 売上高・営業利益増減要因(前年同期比) -

FY2024

(百万円)

売上高	24/3期 2Q	25/3期 2Q	対前期 増減	増減率
売上高計	71,256	74,321	+3,065	+4.3%
業務用カラオケ	30,483	30,790	+307	+1.0%
カラオケ・飲食店舗	30,685	31,820	+1,135	+3.7%
音楽ソフト	3,169	2,772	△397	△12.5%
その他	6,917	8,937	+2,020	+29.2%

営業利益	24/3期 2Q	25/3期 2Q	対前期 増減	増減率
営業利益計	9,377	8,996	△381	△4.1%
業務用カラオケ	6,947	6,480	△466	△6.7%
カラオケ・飲食店舗	2,680	2,560	△119	△4.5%
音楽ソフト	156	189	+32	+21.1%
その他	795	1,148	+352	+44.3%
全社費用	△1,202	△1,382	△179	-



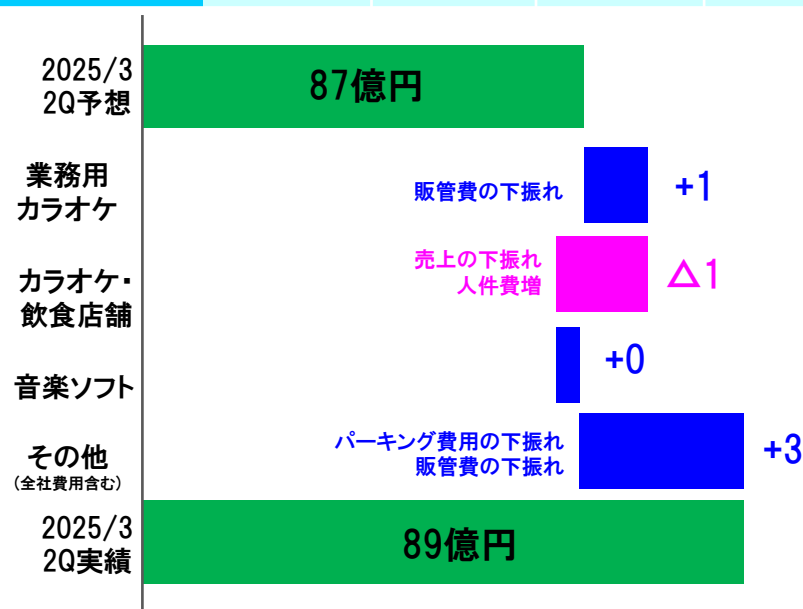
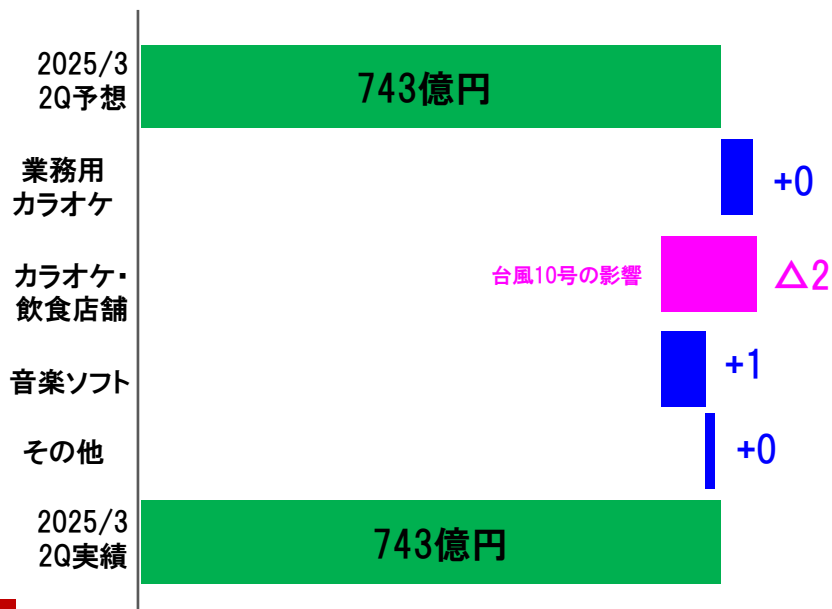
# 2025年3月期中間期決算概要 -売上高・営業利益増減要因(予想比)-

FY2024

(百万円)

売上高	25/3期 2Q予想	25/3期 2Q実績	対予想 増減	増減率
売上高計	74,300	74,321	+21	+0.0%
業務用カラオケ	30,700	30,790	+90	+0.3%
カラオケ・飲食店舗	32,050	31,820	△230	△0.7%
音楽ソフト	2,650	2,772	+122	+4.6%
その他	8,900	8,937	+37	+0.4%

営業利益	25/3期 2Q予想	25/3期 2Q実績	対予想 増減	増減率
営業利益計	8,700	8,996	+296	+3.4%
業務用カラオケ	6,330	6,480	+150	+2.4%
カラオケ・飲食店舗	2,760	2,560	△200	△7.2%
音楽ソフト	150	189	+39	+26.0%
その他	980	1,148	+168	+17.1%
全社費用	△1,520	△1,382	+137	-



**【営業外損益】****◇営業外収益 1,015百万円（前年同期は541百万円）**

主な内容

- ・ 受取補償金 285百万円

**◆営業外費用 1,019百万円（前年同期は159百万円）**

主な内容

- ・ 助成金返還損※ 653百万円
- ・ 支払利息 214百万円(前年同期は70百万円)

※コロナ下において受領した雇用調整助成金のうち一部に過誤払いがあったとの通知を受け、返還の求めに応じたもの

**【特別損益】****◇特別利益 5,532百万円（前年同期は2百万円）**

主な内容

- ・ 固定資産売却益※ 4,414百万円
- ・ 投資有価証券売却益 1,118百万円

※2024年2月に新本社ビルを取得したことに伴い、本社移転先候補の一つとして取得し、コインパーキングとして活用していた土地(品川区)を売却

**◆特別損失 327百万円（前年同期は129百万円）**

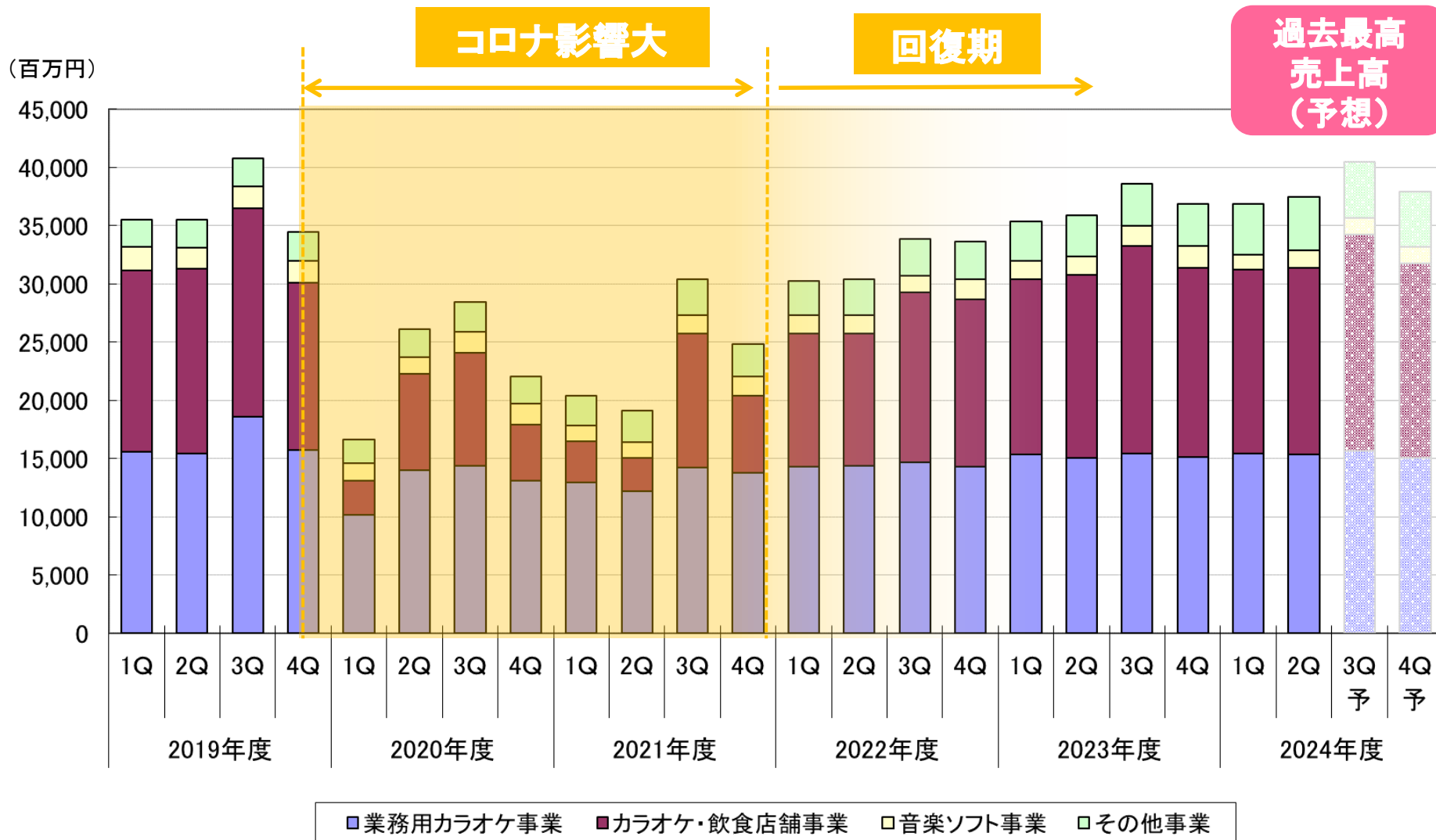
主な内容

- ・ 減損損失 249百万円



# 2025年3月期中間期決算概要 — 四半期ごと売上推移 —

FY2024

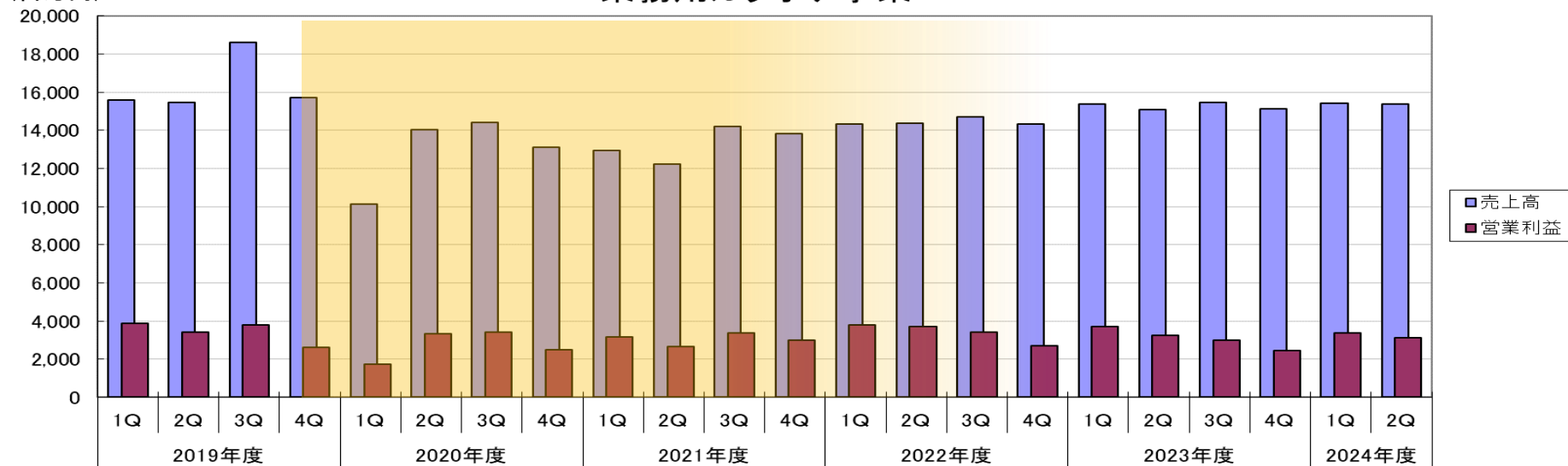


# 2025年3月期中間期決算概要 -セグメントごと業績推移-

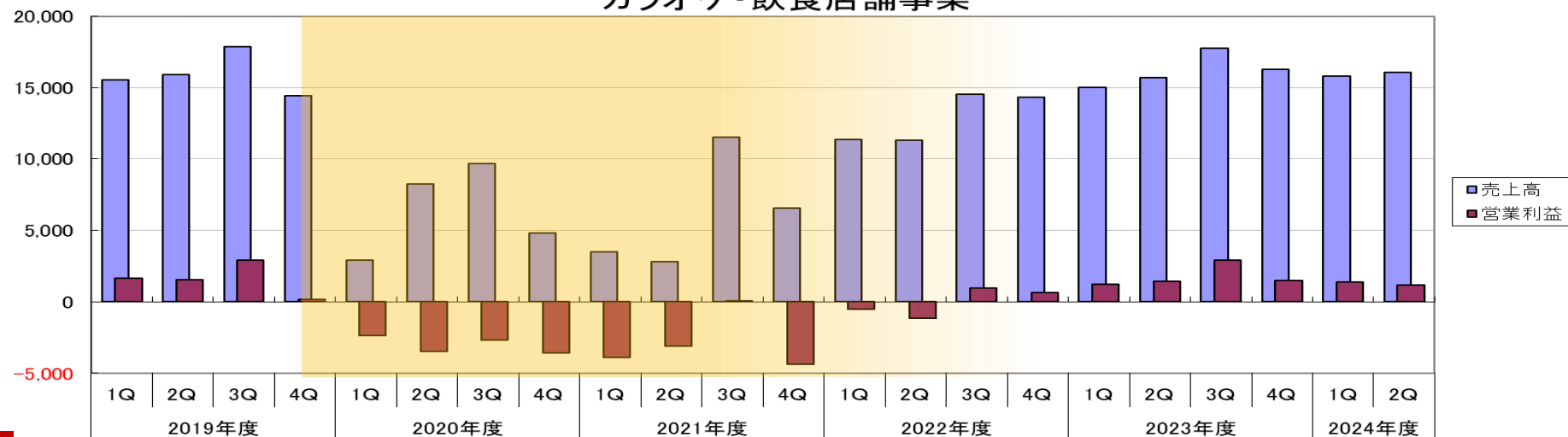
FY2024

(百万円)

## 業務用カラオケ事業



## カラオケ・飲食店舗事業

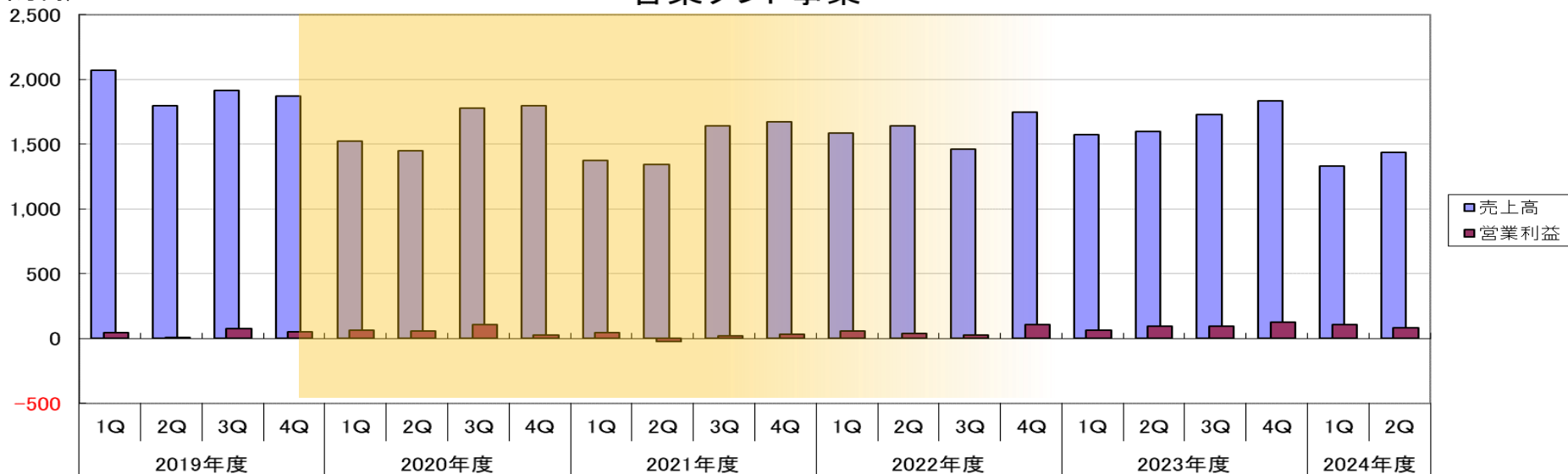


# 2025年3月期中間期決算概要 -セグメントごと業績推移-

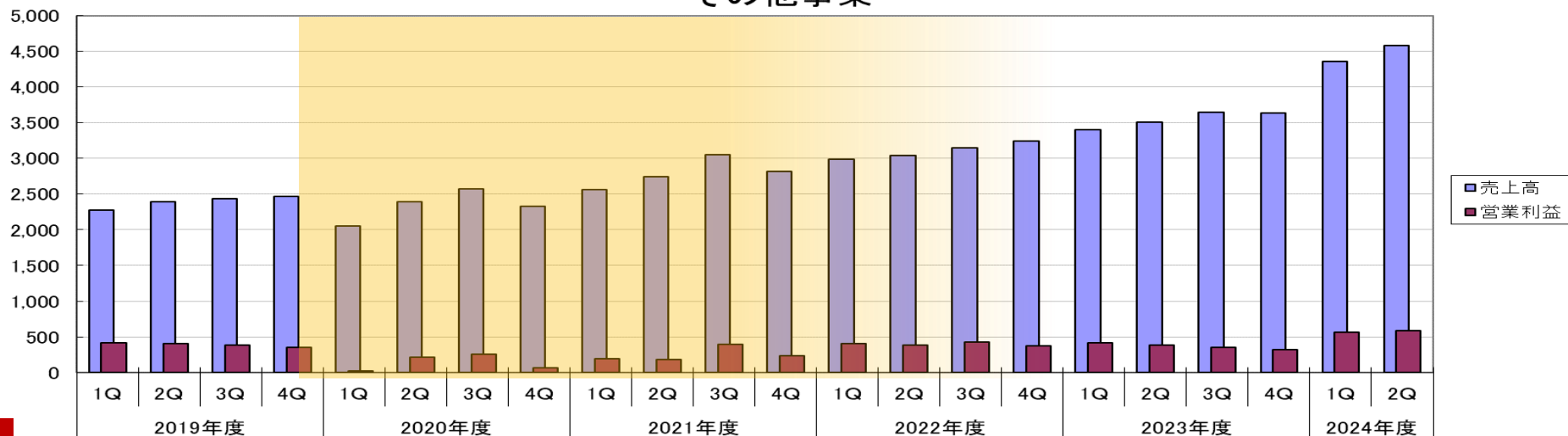
FY2024

(百万円)

## 音楽ソフト事業



## その他事業



# 2025年3月期中間期決算概要 — 業務用カラオケ／カラオケ・飲食店舗 —

FY2024

## 業務用カラオケ事業

(百万円)

	24/3期中間期	(売上比)	25/3期中間期	(売上比)	対前期増減	増減率
売上高	30,483	(100.0%)	30,790	(100.0%)	+307	+1.0%
営業利益	6,947	(22.8%)	6,480	(21.0%)	△466	△6.7%

### [ポイント]

- ナイト市場・エルダー市場を中心に緩やかに改善が進み、当中間期末のDAM稼働台数は前年同期比+2%
- 機器賃貸件数の拡大と旧機種から新機種への入替えを推進し安定的収益基盤の強化を図る
- ライブ映像・アニメ映像・ミュージックビデオなどの映像コンテンツをさらに充実させることにより、カラオケDAMの商品力強化
- エルダー市場においてオンラインコンサートの実施などを通じて介護現場の負荷軽減に繋がる新機能を訴求
- 商品販売において新商品効果が剥落した一方で、件数増に伴うストック収入の増加により増収  
商品販売粗利の減少や販管費の増加などの影響により減益

## カラオケ・飲食店舗事業

(百万円)

	24/3期中間期	(売上比)	25/3期中間期	(売上比)	対前期増減	増減率
売上高	30,685	(100.0%)	31,820	(100.0%)	+1,135	+3.7%
営業利益	2,680	(8.7%)	2,560	(8.0%)	△119	△4.5%

### [ポイント]

- カラオケ:出店5 閉店4 期末店舗数507 飲食:出店6 閉店10※ 期末店舗数155 ※複合業態統合を含む
- 集客は前期からの緩やかな上昇傾向が継続 ただし8月には台風10号が長期滞留した影響を受ける
- 既存店前年同期比:カラオケ104%、飲食104%
- ビッグエコー店舗においては、“BIG SMILE, BIG ECHO.”をスローガンに、店舗リニューアルの推進、利便性向上、カラオケを通じた喜びと楽しさの創出に努める
- 飲食店舗においては顧客満足度の見える化を進め、サービスのクオリティ向上を図る
- 既存店売上の増加による増収も、店舗設備のリニューアル投資や人件費増加などにより若干の減益

## 音楽ソフト事業

(百万円)

	24/3期中間期	(売上比)	25/3期中間期	(売上比)	対前期増減	増減率
売上高	3,169	(100.0%)	2,772	(100.0%)	△397	△12.5%
営業利益	156	(4.9%)	189	(6.8%)	+32	+21.1%

## [ポイント]

- 新人アーティスト発掘、ヒット曲の創出に努めるとともに、音楽出版事業にも注力し、堅実な収益モデルの構築に努める
- プロフィギュアスケーター羽生結弦の映像作品の販売が好調に推移
- 前期に行った株式譲渡によるテレビ番組制作事業売上の剥落により減収も、商品販売等が堅調に推移し増益

## その他事業

(百万円)

	24/3期中間期	(売上比)	25/3期中間期	(売上比)	対前期増減	増減率
売上高	6,917	(100.0%)	8,937	(100.0%)	+2,020	+29.2%
営業利益	795	(11.5%)	1,148	(12.8%)	+352	+44.3%

## [ポイント]

- 「ザ・パーク」ブランドで展開するパーキング事業の業容拡大が進展し、中間期末時点で3,600施設、40,000車室超
- 前期に子会社化したパーキング事業会社(株)クレストの業績が期初から寄与
- BGM事業「スターデジオAir」、家庭協カラオケサービス「カラオケ@DAM」も堅調に推移

(百万円)

	24/3期末	25/3期 中間期末	期中増減	備考
<b>資産の部</b>	<b>211,386</b>	<b>202,631</b>	<b>△8,755</b>	
流動資産	73,479	65,285	△8,194	現預金の減少 △7,799
固定資産	137,906	137,346	△560	カラオケ賃貸機器の増加 +834 カラオケ・飲食店舗設備の増加 +1,173 土地の減少 △4,295
<b>負債の部</b>	<b>102,394</b>	<b>89,995</b>	<b>△12,399</b>	
流動負債	36,914	34,772	△2,141	買掛金及び支払手形の減少 △775
固定負債	65,480	55,223	△10,257	長期借入金の減少 △10,370
<b>純資産の部</b>	<b>108,991</b>	<b>112,635</b>	<b>+3,644</b>	

## 収益性指標

	24/3期中間期	25/3期中間期	増減
売上高営業利益率 (%)	13.2%	12.1%	△1.1%pt
1株当たり当期純利益 (円)	60.91円	90.43円	+29.52円

## 健全性指標

	24/3期末	25/3期中間期末	増減
純資産 (百万円)	108,991	112,635	+3,644
自己資本比率 (%)	50.9%	54.9%	+4.0%pt

## キャッシュ・フロー

(百万円)

	24/3期中間期	25/3期中間期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,446	10,006	+559
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,676	△1,222	+8,453
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,450	△16,575	+2,875
現金及び現金同等物の増減額	△19,613	△7,775	+11,837
現金及び現金同等物の期末残高	51,810	41,530	△10,279
フリーキャッシュ・フロー	△229	8,784	+9,013

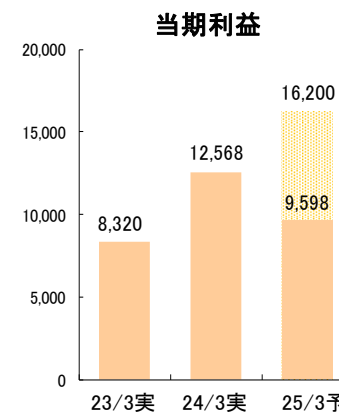
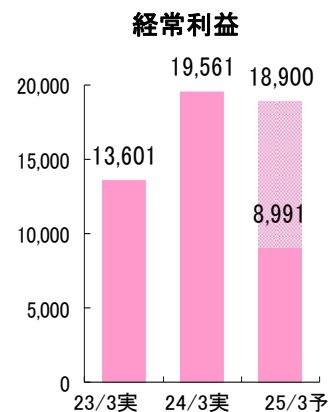
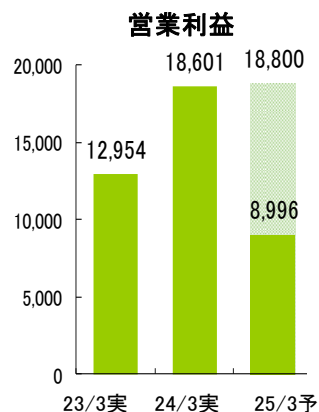
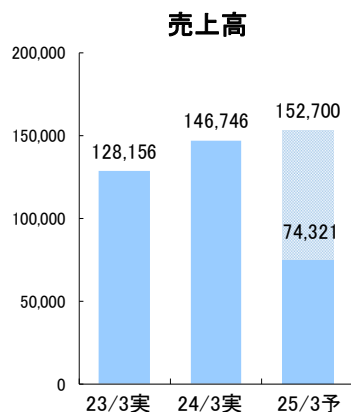
# 2025年3月期の見通し



# 2025年3月期の見通し — 通期業績予想 —

FY2024

				(百万円)	
	2023年3月期 FY2022	2024年3月期 FY2023	2025年3月期(予想) FY2024	2025年3月期 中間期	進捗率
売上高	128,156 (100.0%)	146,746 (100.0%)	152,700 (100.0%)	74,321 (100.0%)	48.7%
営業利益	12,954 (10.1%)	18,601 (12.7%)	18,800 (12.3%)	8,996 (12.1%)	47.9%
経常利益	13,601 (10.6%)	19,561 (13.3%)	18,900 (12.4%)	8,991 (12.1%)	47.6%
当期利益	8,320 (6.5%)	12,568 (8.6%)	16,200 (10.6%)	9,598 (12.9%)	59.3%
1株純利益 (EPS)※	76円21銭	117円01銭	154円32銭	90円43銭	—



※ 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

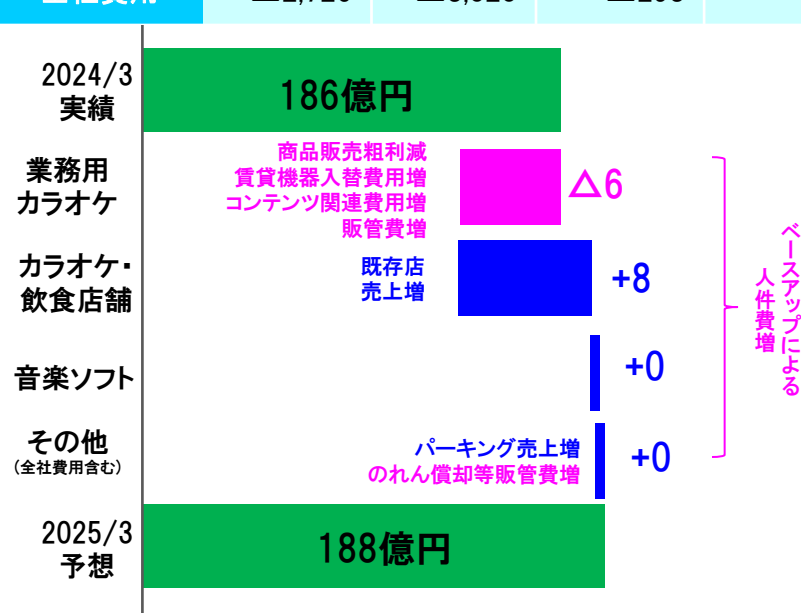
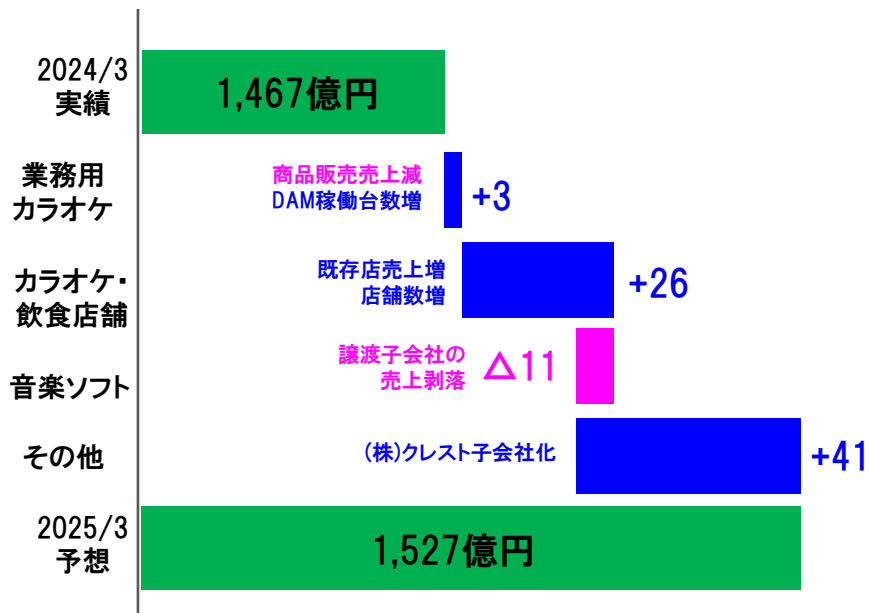
# 2025年3月期の見通し - 売上高・営業利益増減要因 -

FY2024

(百万円)

売上高	24/3期実績	25/3期予想	対当期増減	増減率
売上高計	146,746	152,700	+5,953	+4.1%
業務用カラオケ	61,078	61,400	+321	+0.5%
カラオケ・飲食店舗	64,733	67,350	+2,616	+4.0%
音楽ソフト	6,733	5,550	△1,183	△17.6%
その他	14,200	18,400	+4,199	+29.6%

営業利益	24/3期実績	25/3期予想	対当期増減	増減率
営業利益計	18,601	18,800	+198	+1.1%
業務用カラオケ	12,384	11,700	△684	△5.5%
カラオケ・飲食店舗	7,100	7,910	+809	+11.4%
音楽ソフト	373	420	+46	+12.6%
その他	1,469	1,790	+320	+21.8%
全社費用	△2,726	△3,020	△293	—



※事業セグメント別売上・利益の内訳は期初予想より修正を加えております。

## 全社トピックス

### 《事業ポートフォリオの最適化》

- ・ 前期に実施したM&Aの影響が通年寄与
  - ① 音楽ソフト事業:ユニオン映画(株)の譲渡により当該売上(15億円)及び営業利益(1億円)が剥落
  - ② その他事業(パーキング):(株)クレストの子会社化により当該売上(25億円)が増加する一方で、のれんの償却(販管費・4.7億円)が増加

### 《ベースアップの実施による人件費の増加》

- ・ 2024年4月より当社社員を対象にベアを実施(基本給平均約6%UP)
- ・ P/Lへの影響額は原価・販管費を合わせて10億円程度を見込む

### 《(来期見込)本社機能の移転》

- ・ 2024年2月に本社機能移転のため、固定資産を取得(港区三田3丁目)
- ・ 移転に向けた準備の進捗から、実際の移転は来期(2026年3月期)となる見込み
- ・ 2024年9月 従前より移転先の候補地として所有していた土地(品川区)を売却  
 ※参考:2024年7月29日「固定資産譲渡及び特別利益の計上に関するお知らせ」
- ・ 現本社ビル(右図①・②)等の所有不動産については売却も含め活用方法を検討中

⇒音楽ソフトを除く各事業セグメントでの売上増による増収を見込むが、諸費用増により、概ね前期並みの営業利益を見込む



- [現本社]  
 ①東京都品川区北品川5-5-26  
 ②東京都品川区北品川6-5-27  
 ③東京都品川区東五反田1-24-2  
 JRE東五反田1丁目ビル(賃貸)

- [移転先]  
 ★東京都港区三田3-9-6

## 業務用カラオケ事業

- ・「LIVE DAM AiR(ライブダムアイアール)」を中心に機器賃貸資産への入替え投資や音源・映像などカラオケコンテンツへの投資を推進。安定的収益基盤の強化とDAMブランドのさらなる価値向上を図る。
- ・各市場ごとの施策を推進し、DAM稼働台数及びシェアの向上を図る。

### 《市場別の取り組み》

市場分類		DAMの構成比	外部環境/社会課題	対応する施策
ナイト市場	スナック、バー、ラウンジ等	約50%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い経営者の増加</li> <li>・地方・郊外から大都市への需要集中</li> <li>・コロナ禍からのリバウンドは一巡し、市場規模は再び微減傾向へ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来の地域密着営業に加えて「カラオケの窓口」「よるみせナビ」等webサイトを活用した営業</li> <li>・「本日出勤」等、ナイトシーンを盛り上げるコンテンツ</li> <li>・モニターの大型化やハーモニーマイク導入など、他店との差別化施策の提案による集客支援</li> </ul>
カラオケボックス市場	大手チェーン 小規模事業者	約30%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方・郊外から大都市への需要集中</li> <li>・コロナ禍による店舗数の減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DAMの商品力向上(歌われる楽曲・映像コンテンツの充実)による、エンドユーザーの支持獲得</li> <li>・各種コラボ・キャンペーンの提案</li> <li>・フランチャイズ(カラオケCLUBDAM)の提案による小規模事業者の支援</li> </ul>
エルダー市場	デイサービス等の要介護施設 公民館等の自治体施設	約12%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者人口の増加</li> <li>・小規模介護施設の経営難</li> <li>・介護人材の不足</li> <li>・2024年度介護・診療報酬制度改定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最新機種「FREEDAM LIFE」の拡販</li> <li>・おまかせレク・スケジュール機能等、介護施設職員の業務負荷軽減に繋がる機能の訴求</li> <li>・自治体による認知症予防事業へのカラオケ活用</li> </ul>
その他の市場	ホテル・旅館 結婚式場 複合施設 等	約8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大宴会需要の減少</li> <li>・インバウンドを含む観光客のナイトタイムエコノミー需要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊施設へのカラオケルーム施工の提案</li> <li>・電話ボックス型カラオケ「COCOKARA」を使った「新たな歌う場所」の提案(ゲームセンター、商業施設、オフィス等)</li> <li>・スーパーマーケット等、異業種との協業の模索</li> </ul>

⇒「LIVE DAM AiR(ライブダムアイアール)」の新商品効果が剥落して商品販売売上は減少するが、DAM稼働台数、賃貸件数増加などによりストック収入が増加し、セグメントとしては増収を見込む  
事業基盤強化のための投資先行による原価上昇と販管費の増加により減益を見込む

## カラオケ・飲食店舗事業

### 《カラオケ店舗の取り組み》

- ・「BIG SMILE, BIG ECHO. 歌おう、笑おう、みんなと motto。」
- ・カラオケメーカー直営店舗として、設備面での充実(最上位機種 of 早期導入、美観徹底)
- ・人材育成/教育とシステム化(自動受付/精算機、スマホオーダー等)によるサービス充実
- ・様々なアーティスト、キャラクター、企業等とのコラボ企画による、ライトユーザーに向けた集客施策



### 《飲食店舗の取り組み》

- ・予約受注が好調に推移するなかで、お客様の意見を簡便に収集・数値化できるシステムを活用した顧客満足度の“見える化”を推進
- ・お客様のニーズを的確にとらえ、新たなブランド開発、既存ブランドのブラッシュアップ
- ・DKダイニングアプリの訴求による再来店の促進

⇒既存店売上伸長及び店舗増による増収、増益を見込む

## 音楽ソフト事業

- ・新人アーティストの発掘とヒット曲の創出に努めるとともに、音楽出版事業の推進による堅実な収益モデルの構築
- ・前期に子会社(テレビ番組制作事業)株式を譲渡したことにより、売上・利益が剥落

⇒子会社売上の剥落による減収も、概ね前期並みの営業利益を見込む

## その他事業

- ・パーキング事業において、M&Aを含む新規施設開拓による事業規模の成長を図るとともに、テレビCMなどを通じた「ザ・パーク」ブランドの認知拡大に努める。
- ・前期に子会社化した(株)クレストの売上が通年寄与する一方でのれん償却が増加

⇒パーキング事業の伸長による増収、増益を見込む

## ■ 配当予想

・当期の配当予想については、前期実績と同額の57円(通期)で変更なし

1株当たり配当金	24年3月期			25年3月期予想		
	中間	期末	年間	中間	期末	年間
	28円	29円	57円	28円(予)	29円(予)	57円(予)
純資産配当率	5.8%			5.4%		
配当性向	48.7%			36.9%		

## ■ 自己株取得

・2024年5月13日及び2024年8月8日の取締役会決議に基づき自己株式の取得を実施

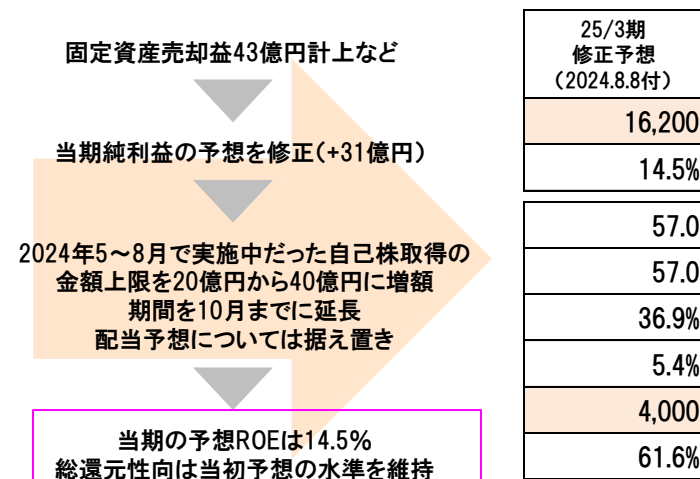
《概要》

期間:2024年5月14日～10月31日

取得株数:2,366,700株

取得金額:3,999百万円

	24/3期	25/3期 当初予想
当期純利益 (百万円)	12,568	13,100
自己資本利益率(ROE) (%)	11.7%	11.9%
1株あたり配当金(実額) (円)	57.0	57.0
1株あたり配当金(分割考慮) (円)	57.0	57.0
配当性向 (%)	48.7%	46.3%
純資産配当率(DOE) (%)	5.8%	5.5%
自己株取得 (百万円)	6,000	2,000
総還元性向 (%)	96.2%	61.5%



## 参考資料



## 「Singing 歌いながらいこう」 ～この毎日を歌いながらいこう。歌えば、明日はもっといい日になる。～

### Singing 歌いながらいこう。

うれしいときは、歌ってはじけよう。

つらいときは、歌ってふっきろう。

友達になりたいときは、歌って仲良くなろう。

一人のときは、ジブンに浸ろう。

歌って笑おう。歌って泣こう。歌って元気になろう。

歌うって、楽しいだけじゃない。

心と身体を健康にし、

世の中を良い方へ変えていくチカラがある。

大人も子どもも、若い人もおじいちゃんもおばあちゃんも、

この毎日を歌いながらいこう。

歌えば、明日はもっといい日になる。

私たち第一興商グループは、

様々なアクションを通して、社会全体に

歌うことの素敵なチカラを広げていきます。



第一興商グループは、  
“心と身体を元気にするカラオケを  
もっと楽しんでいただきたい”  
という思いのもと、  
グループ企業メッセージを  
「Singing 歌いながらいこう」としました。

このメッセージを中心に、さまざまな  
アクションを通して歌うことの素敵なチカラを  
社会全体に広げ、皆さまの日常が豊かになる  
お手伝いをしてまいります。

また、Singing特設サイトでは、  
歌うことによる心と身体へのうれしい効果や、  
歌・音楽のチカラ、思わず歌いたくなる  
特集記事などをご紹介します。

■Singing特設サイト:

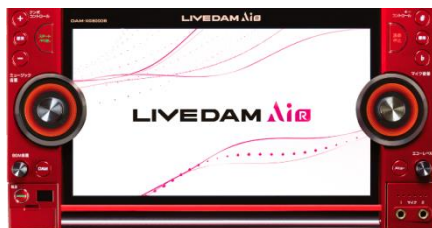
<https://www.clubdam.com/singing/>

Singing   
歌いながらいこう



## LIVE DAM AiR (DAM-XG8000R)

最高の音質とライブ感  
さらに広がるAI体験



- 音声認識機能「Aiアシスタント」が外国語の発話に対応
- 「ライブサウンド」機能に「さいたまスーパーアリーナ」「エキサイトライブホール」が追加
- 本人映像・ライブ映像等のコンテンツ数は業界最多(当社調べ)

## FREE DAM LIFE (DAM-F850)

映像くっきり、音はつきり  
DKエルダーシステム推奨機

- 抗ウイルス・抗菌仕様
- 目的別進行プログラムの自動作成機能「おまかせレク」
- 離れた施設間でも同時に楽しめるリモートセッション機能



## Cyber DAM + (DAM-G100W)

ナイトシーンに特化した  
楽曲ラインナップ



- 業界初のダブルモニター搭載、抗ウイルス・抗菌コーティング加工
- 「ライブエコー」で臨場感プラス
- ナイト市場で好評の演歌・歌謡曲、外国曲・デュエット曲を大幅に強化

## Party DAM 20V (DAM-PD20V)

一体型移動式で  
宿泊市場・宴会市場向け

- 講演会などの演台としても利用できるよう、上部ディスプレイは本体に収納可能
- ホテル・旅館や結婚式場など、さまざまなシーンを演出する多彩なパーティコンテンツ



## SmartDAM AiR (TM30R)

より使いやすく！より快適に！  
予約確認や楽曲操作がより直感的に



- カラオケで利用シーンの多い操作を直感的に行える操作パネル新搭載
- 各シーンの人気曲を取り揃えた新検索
- 抗ウイルス・抗菌コーティングを採用

## ハーモニーマイク (WITM-500P/W)

より歌いやすい音質に変わる  
“DAMボタン”を搭載

- DAMのカラオケ機器との相性を最適化した、赤外線ワイヤレス
- 高音質でハウリングにも強い
- シャープ ↔マイルドの音質切替スイッチを搭載



## カラオケブランド

ビッグエコー



カラオケマック



カラオケCLUB DAM



メガビッグ

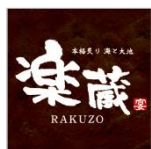


ビーガレージ



## 飲食店舗ブランド

個室ダイニング



楽蔵



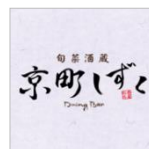
湊一や



鮮や一夜



ウメ子の家



京町しずく



せせらぎを聴きながら



じぶんどき



あたらよ **NEW**



鯨やハレの日



ととうお



十勝石狩函館



びすとろ家

ダイニングバー・バル 等



キッチン



フォレストダイナー



あまつ



ぎん天



祭酒場

バー



CELTS



HIGHBALL  
BAR



J's Bar

アミューズメント



REGALO



ダーツワン



MARUNOUCHI  
BASE

喫茶・食事



銀座珈琲店



もちの木  
パスタ



Time is Curry



いちだん

## パーキングビジネス

土地活用を提案し、さらなる価値の創造を



駐車場にして、土地を活用。

CMイメージキャラクター  
梶尾 勝代(とちお かつよ)

カラオケのリーディングカンパニーとして全国のお客様と築き上げた信頼関係を武器に、当社の新たな収益の柱とするべく、「ザ・パーク」の名称で事業展開しております。地域社会への貢献とお客様に安心・安全でご満足いただける土地の有効活用をご提案し、コインパーキング開設からアフターフォローまで、全面的にサポートします。

当社パーキング事業は全国展開を開始してから8年が経過し、2024年9月末現在で3,600施設・40,000車室の規模に拡大しました。前期にグループインした株式会社クレスト(「ブレイクパーキング」)の収益も今期初より寄与しており、今後さらなる業容拡大を進めるとともに、「土地活用といえば『ザ・パーク』』という認知を全国に拡大していきます。

[ザ・パークの強み]

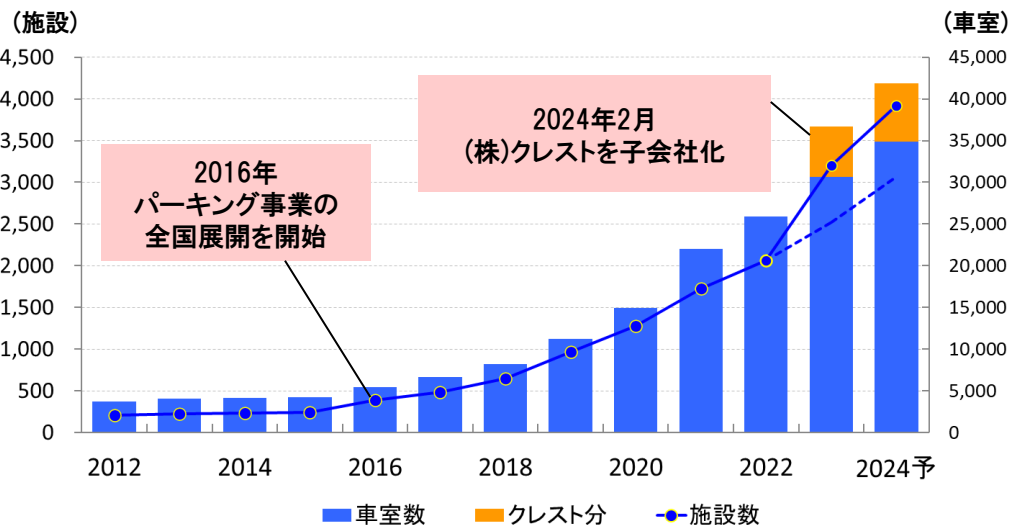


[ブレイクパーキングの強み]



- ・全国に130か所以上あるカラオケの営業所を拠点とし、全国を網羅した事業展開
- ・カラオケの地域密着営業で培った、不動産会社・土地オーナー様との強固なリレーションシップ
- ・安定的事業基盤

- ・パーキング専門20年により蓄積された、都心部(東京・大阪)における物件開発力



音楽ソフト各社のアーティスト

◆演歌・歌謡曲

里野鈴妹(さとのすずめ)



◆J-POP

ベリーグッドマン



◆演歌・歌謡曲

水森かおり



◆J-POP

Jams Collection



BGM放送ビジネス



【業務用】  
専用モバイル回線を利用したBGMサービス。



【業務用】  
NTTのフレッツ光回線を利用したBGMサービス。

※スターデジオの家庭向けサービス(衛星放送)は、2024年3月31日をもって終了いたしました。

Webビジネス



通信カラオケDAMと連動したカラオケユーザーコミュニティサービス。カラオケを撮影・録音したり、ネットに公開できる会員制サービス。



インターネットストリーミングカラオケ。PCやスマホ・ゲーム機等で映像・歌詞テロップ付きのカラオケが楽しめる月額制サービス。



本資料に掲載の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

本資料に関するご質問等は、経営企画部  
TEL:03-3280-2774までお願いいたします。